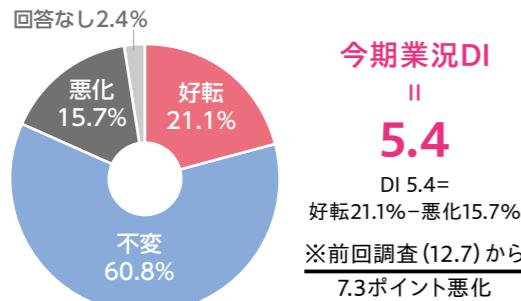


世田谷区における中小企業の景況

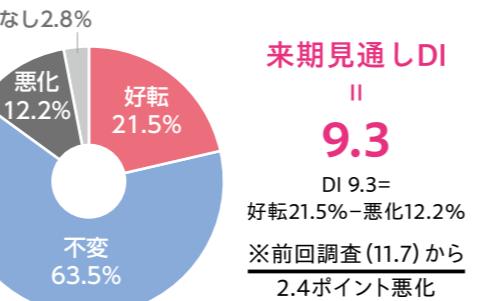
業況

今期(2025年7~9月期実績)の業況DIは、+5.4ポイントで前期から▲7.3ポイント悪化した。
来期の業況見通しDIは+9.3ポイントとなり、前回調査より▲2.4ポイント悪化する見通し。

今期の業況(前期との比較)

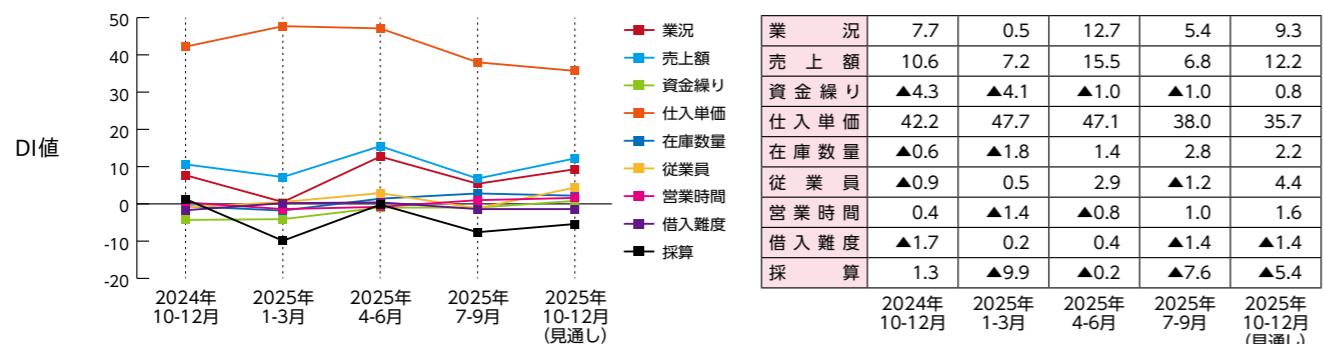


来期の見通し(今期との比較)



主な指標別の傾向

今期は、営業時間+1.0(前期比+1.8)、在庫数量+2.8(同+1.4)の2指標でポイントが増加、資金繰り▲1.0(同0.0)は前期と変わらず、他6指標はポイントが減少した。来期見通しでは、仕入単価+35.7(当期比▲2.3)、在庫数量+2.2(同▲0.6)は減少、従業員+4.4(当期比+5.6)、売上額+12.2(同+5.4)、採算▲5.4(同+2.2)など6指標ではポイントが増加し改善が見込まれる。



主要景況指数表[今期の状況(前期比)]

(注)調査項目：業況(好転↔悪化)、売上額(増加↔減少)、資金繰り(好転↔悪化)、仕入単価(上昇↔低下)、在庫数量(増加↔減少)、従業員(増加↔減少)、営業時間(延長↔短縮)、借入難度(容易↔困難)、採算(好転↔悪化)

	業況	前年同期比	売上額	前年同期比	資金繰り	仕入単価	在庫数量	従業員	営業時間	借入難度	採算
全 体	5.4	10.2	6.8	14.1	▲1.0	38.0	2.8	▲1.2	1.0	▲1.4	▲7.6
製 造 業	11.9	16.9	13.6	13.6	3.4	32.2	10.2	1.7	1.7	10.2	8.5
建 設 業	12.5	18.3	13.5	25.0	0.0	44.2	2.9	0.0	2.9	3.8	1.0
不 動 産 業	16.0	16.0	14.0	24.0	8.0	24.0	▲4.0	▲4.0	▲2.0	▲6.0	▲6.0
卸 売 業	▲4.8	7.9	3.2	15.9	4.8	50.8	7.9	0.0	0.0	1.6	▲19.0
小 売 業	0.0	4.7	0.0	5.9	▲5.9	56.5	2.4	▲9.4	▲3.5	▲4.7	▲9.4
サ ー ビ ス 業	1.4	3.5	2.1	7.1	▲6.4	24.1	0.0	2.1	3.5	▲7.8	▲14.9

主要景況指数表[来期の見通し(当期比)]

	業況	売上額	資金繰り	仕入単価	在庫数量	従業員	営業時間	借入難度	採算
全 体	9.3	12.2	0.8	35.7	2.2	4.4	1.6	▲1.4	▲5.4
製 造 業	8.5	11.9	▲1.7	32.2	6.8	5.1	3.4	3.4	1.7
建 設 業	8.7	15.4	2.9	43.3	1.0	14.4	1.9	8.7	▲1.0
不 動 産 業	2.0	8.0	▲4.0	22.0	▲2.0	▲6.0	0.0	▲10.0	▲12.0
卸 売 業	6.3	7.9	4.8	54.0	4.8	3.2	3.2	3.2	▲11.1
小 売 業	17.6	21.2	8.2	44.7	3.5	▲1.2	▲2.4	▲3.5	1.2
サ ー ビ ス 業	9.2	7.8	▲4.3	22.7	0.7	4.3	2.8	▲8.5	▲10.6

概況：〈DI(Diffusion Index)とは…〉DI(%)=「良い」「増加」等企業割合-「悪い」「減少」等企業割合

DIとは、各設問の項目について、「増加」「好転」とした企業の割合から、「減少」「悪化」とした企業の割合を差し引いた値です。したがってDIがプラスを示している場合は、全体として「増加」「好転」とする企業が多く、景気(またはそれぞの要素)が上向きの傾向にあることを示します。逆にマイナスを示している場合は、景気が低迷の傾向にあることを示します。

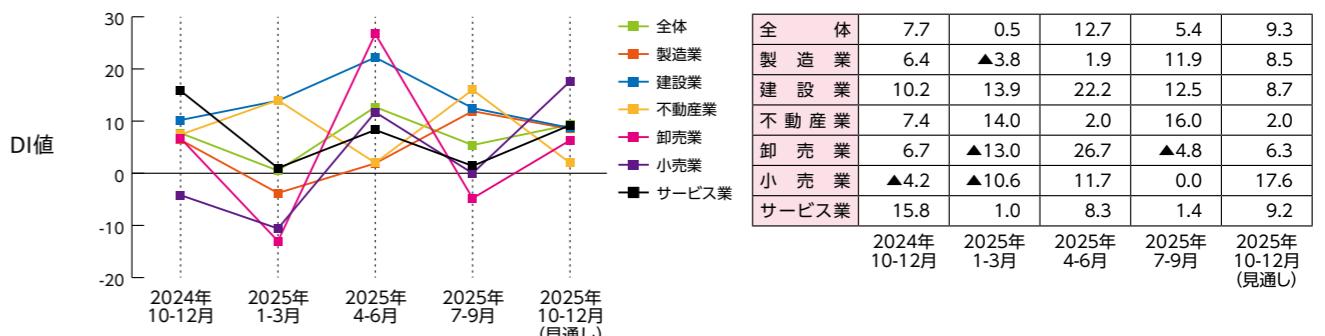
第93回調査実施概要

1.調査時期：2025年9月19日～10月3日 2.対象期間：2025年7月～2025年9月期、および2025年10月～2025年12月期見通し 3.調査対象：支部会員中小企業(約3,579社) ①製造業・建設業・運輸業・その他の業種(②～④を除く)…資本金3億円以下、または従業員300人以下 ②卸売業…資本金1億円以下、または従業員100人以下 ③小売業…資本金5千万円以下、または従業員50人以下 ④サービス業…資本金5千万円以下、または従業員100人以下 4.調査方法：調査票郵送～郵送・FAX・インターネットにて回収。区内金融機関に協力依頼。 5.回収状況：合計502社(回収率=14.0%) 製造業…59社・不動産業…50社・小売業(飲食業含む)…85社・建設業…104社・卸売業…63社・サービス業…141社 ※数値については小数点第2位を四捨五入しており、計算値が一致しない場合がある。

お問い合わせ 東京商工会議所世田谷支部 TEL：03-3413-1461

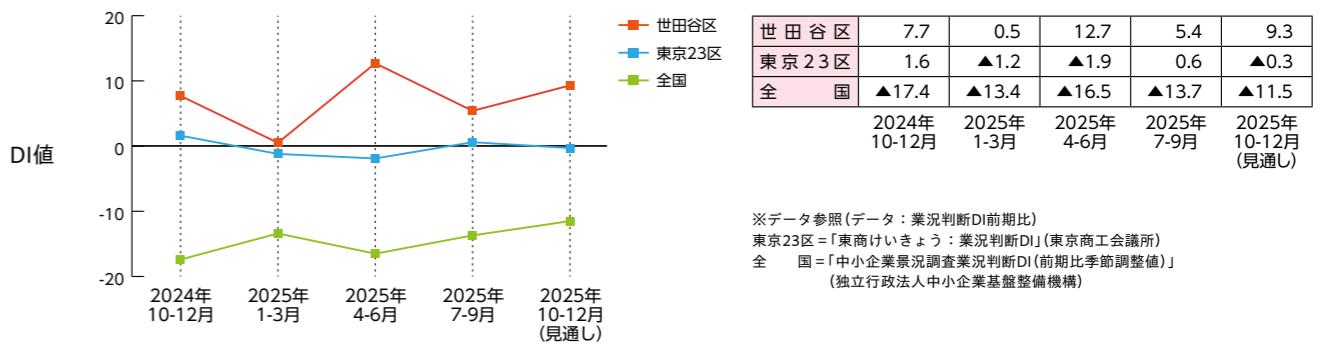
業種別の動向

今期の業種別DIは「不動産業」+16.0(前期比+14.0)、「製造業」+11.9(同+10.0)の2業種が改善し、それ以外の業種は悪化した。大きく悪化したのは「卸売業」▲4.8(同▲31.5)で30ポイント以上悪化した。来期は「小売業」+17.6(当期比+17.6)、「卸売業」+6.3(同+11.1)、「サービス業」+9.2(同+7.8)の3業種で増加する見通し。



東京都・全国との比較

今期は「全国」(▲13.7ポイント、前期比+2.8)、「東京23区」(+0.6ポイント、同+2.5)のポイントは増加したが、「世田谷区」は(+5.4ポイント、同▲7.3)と減少した。来期見通しは「全国」(▲11.5ポイント、当期比+2.2)、「世田谷区」(+9.4ポイント、同+4.0)はポイント増加、「東京23区」(▲0.3ポイント、同▲0.9)は減少する見通し。



※データ参照(データ：業況判断DI前期比)
東京23区＝「東商けいきょう：業況判断DI」(東京商工会議所)
全国＝「中小企業景況調査業況判断DI(前期比季節調整値)」(独立行政法人中小企業基盤整備機構)

経営上の問題点

1位「仕入単価、下請単価の上昇」42.2%(前期比▲2.7ポイント)、2位「人件費の増加」41.4%(同+7.5ポイント)、3位「人件費以外の経費の増加」30.7%(同▲0.5ポイント)、4位「従業員の確保難」27.7%(同▲2.1ポイント)、5位「販売単価、製品単価、請負単価の低下・上昇難」13.3%(同+1.7ポイント)と上位5位までは前回順位と同じ。6位「購買ニーズの変化への対応」13.1%(同+2.9ポイント)、7位「需要の停滞」10.8%(同+0.8ポイント)はそれぞれ前回順位の7位と8位から上昇。8位「店舗・倉庫の狭隘・老朽化」7.8%(同+1.7ポイント)は前回順位11位から上昇。9位「金利負担の増加」7.6%(同▲3.0ポイント)、10位「新規参入者の進出や同業者の増加」7.4%(同▲1.0ポイント)はそれぞれ前回順位6位と9位から下降した。

順位	項目	回答数	回答率	前回順位	順位	項目	回答数	回答率	前回順位
1	仕入単価、下請単価の上昇	212	42.2%	— 1	11	生産設備の不足・老朽化	36	7.2%	↓ 10
2	人件費の増加	208	41.4%	— 2	12	事業資金の借入難	24	4.8%	— 12
3	人件費以外の経費の増加	154	30.7%	— 3	13	大企業(大型店)進出による競争激化	22	4.4%	— 13
4	従業員の確保難	139	27.7%	— 4	13	取引条件の悪化	22	4.4%	↑ 14
5	販売単価、製品単価、請負単価の低下・上昇難	67	13.3%	— 5	15	代金回収の悪化	11	2.2%	↑ 17
6	購買ニーズの変化への対応	66	13.1%	↑ 7	16	在庫の過剰	8	1.6%	↑ 17
7	需要の停滞	54	10.8%	↑ 8	16	在庫の不足	8	1.6%	↓ 15
8	店舗・倉庫の狭隘・老朽化	39	7.8%</td						